

# 口腔機能管理研修会

歯科の概論について～スムーズな連携を図るために

群馬県歯科医師会地域保健委員会

松本堅志郎

1

デイリー新潮 SHINCHO

人は喉から衰える!? 「誤嚥性肺炎」で死なないための「10カ条」(下...)

オノ・ヨーコの「幻覚型認知症」 実弟が病状告白

血管を「詰まらせない」ための

### 中村勘三郎、山城新伍も... 増加する「誤嚥性肺炎」の原因とは

ライフ 週刊新潮 2017年6月1日号掲載

#### ■人は喉から衰える!? 「誤嚥性肺炎」で死なないための「10カ条」(上)

最近、肺炎で亡くなる有名人がやけに多くはないだろうか。それもそのはず、この病気が日本人の死因第3位、なかでも増えているのが「誤嚥性肺炎」なのだ。風邪の仲間かと思ったら大間違い。いったん罹れば「死」に直結する、恐怖の病から逃れるための10カ条。

\*\*\*

83歳で亡くなった囲碁の藤沢秀行名誉棋聖は、亡くなる数カ月前まで骨折で入院していたものの、見た目は元気そのものだった。ところが、2009年4月、「誤嚥性肺炎」と診断され、再入院を余儀なくされる

©新潮社

日本歯科医師会  
Japan Dental Association

2

# 誤嚥性肺炎

- 致死的な肺炎の多くは細菌などに汚染された唾液、食物残渣を誤嚥することが原因
- 口腔には肺炎の原因となる常在菌が存在
- 高齢者は唾液の分泌量が低下や、口腔機能低下により不潔になりやすい
- 高齢者の肺炎の70%以上は誤嚥によるもの
- お口の中を清潔にする口腔ケアは肺炎予防に有効

3

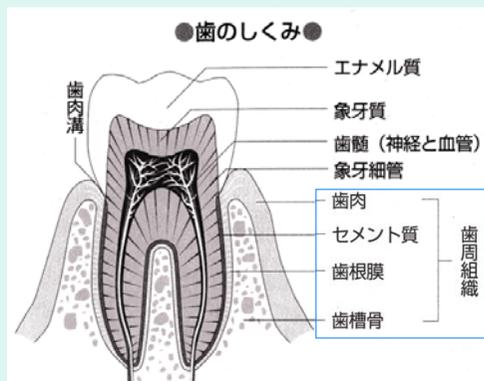
# 虫歯 歯周病について

虫歯、歯周病は細菌が要因になります。  
はじめに基本的な虫歯、歯周病のお話をいたします。



4

## 歯周組織とは



健康な歯周組織は一体となって歯を支えている

日本歯科医師会  
Japan Dental Association

森山貴史著「中高年の歯の病気がすべてわかる本」主婦と生活社 2003 より

5

## 健康な歯肉



日本歯科医師会  
Japan Dental

6

## 歯周病の歯肉



歯周病の歯ぐきの特徴

- ・赤い色をしている
- ・腫れてむくんでいる
- ・血や膿が出る

歯周病の症状

- ・歯ぐきから血や膿が出る
- ・歯ぐきが腫れる
- ・歯がぐらつく

日本歯科医師会  
Japan Dental

7

## 健康な歯周組織



健康な歯周組織には炎症がなく、破壊も見られない

日本歯科医師会  
Japan Dental

行社：石井正敏著「やさしい説明、上手な治療 [1] 歯周病」永末書店 1997 より

8

### 不潔な口腔内



日本歯科医師会  
Japan Dental Association

9



日本歯科医師会  
Japan Dental Association

10



日本歯科医師会  
Japan Dental Association

11

### お口の環境が全身に影響します

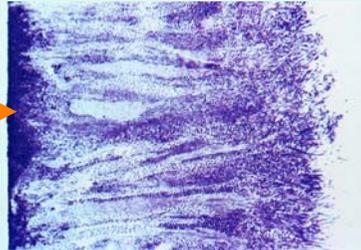
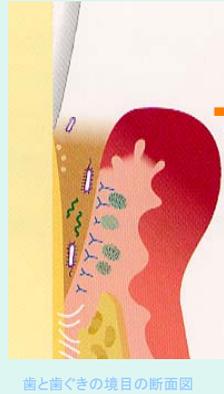
- 口腔内の常在菌が全身へ移動することで、様々な感染を起こす可能性が考えられています。そのような感染を防ぐ意味でも口腔ケアは重要です。
- 高齢者は口腔の自浄作用が低下します。唾液の分泌、舌、口腔周囲筋の動きの減少→口腔内細菌数増加

さきほどお話ししました誤嚥と他に  
どのように口腔内細菌が移動し全身に影響するのでしょうか

日本歯科医師会  
Japan Dental Association

12

## プラークは細菌の塊



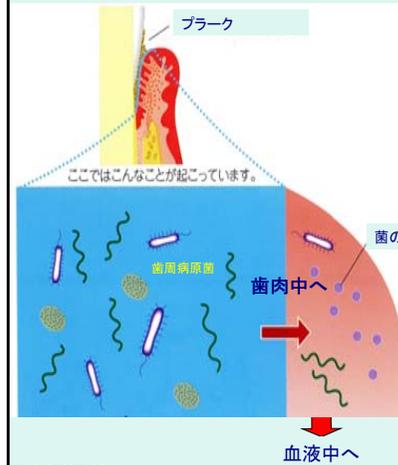
- ・口の中には300種類以上の細菌が棲んでいる
- ・その数は500億～1兆個
- ・細菌はお互い同士が集まって塊を作る
- ・このプラークの中の細菌が歯周組織に炎症を起こさせる

日本歯科医師会  
Japan Dental Association

山田 了 編著「やさしい説明、上手な治療 [3] 細菌から体を守るプラークの塊」永楽書店 2001 年より  
写真：K.H.Rateitschak et al., "Color Atlas of Periodontology", Thieme Inc. New York, 1985 年より

13

## 口腔内細菌が血液中に侵入する



- ・歯周病で炎症を起こした歯肉には多数の細菌が接している
- ・歯周病菌が炎症を起こした歯肉の中に入り込む
- ・細菌や細菌の成分が血液中に流れ込み、血管を通して全身に運ばれ、何らかの病気を引き起こす

日本歯科医師会  
Japan Dental Association

山田 了 編著「やさしい説明、上手な治療 [3] 細菌から体を守るプラークの塊」永楽書店 2001 年一部改変

14

## 口腔内細菌が全身に及ぼす影響



口腔内細菌は  
こんな病気に関わっている

- ・動脈硬化などの血管系の病気
- ・心臓の病気
- ・肺炎などの呼吸器疾患
- ・早期低体重児出産
- ・糖尿病 など

日本歯科医師会  
Japan Dental Association

山田 了 編著「やさしい説明、上手な治療 [3] 細菌から体を守るプラークの塊」永楽書店 2001 年一部改変

15

## 口腔ケア

- ・口の中を清潔に保つことで、**口腔内だけでなく体全体の健康を保つケア**
- ・加齢により自力で口腔環境を整えることが難しくなる

実際の口腔ケアを見て行きましょう



日本歯科医師会  
Japan Dental Association

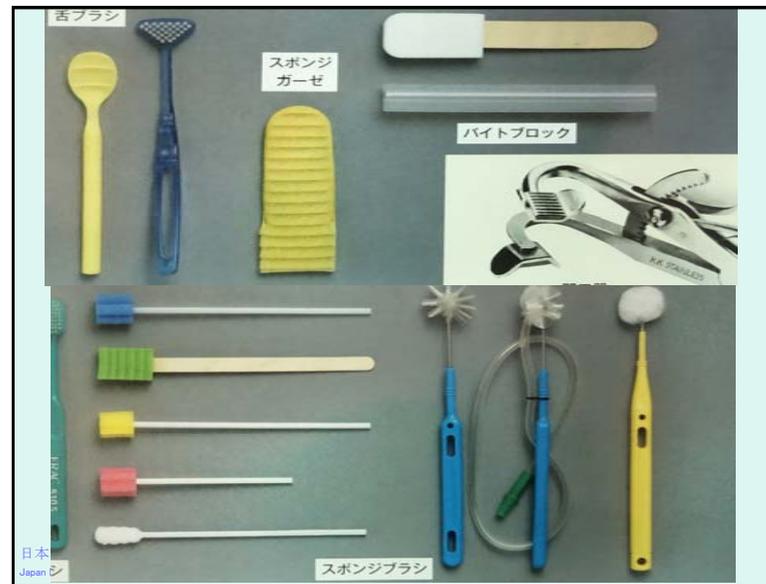
16

# ケア用品



Japan Dental Association

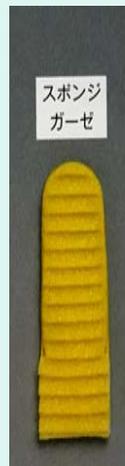
17



日本  
Japan

18

## 口腔清拭ガーゼ ・粘膜に炎症や傷がある場合に用いる

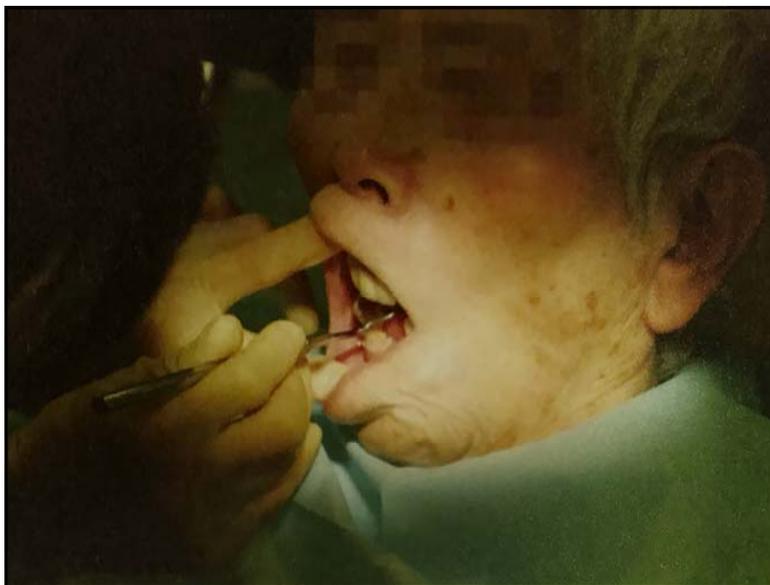


19

19



20



21



22



23

## 口腔ケアのチカラ

口腔ケアで口の中を清潔にすると、**唾液の分泌が促進**されます。  
また歯ブラシなどで唾液腺を刺激することでも分泌が促進されます。

**感染症や発熱を予防する効果。**

口を開けたり閉じたり口腔内を刺激することにより、脳を活発にし**認知症を予防**するといわれています。

口腔機能の低下を防ぐ  
口腔ケアを通して**口腔機能を向上**、改善すれば身体健康維持につながります。



日本歯科医師会  
Japan Dental Association

24

# 口腔内アセスメントツールの紹介

## OHAT オーハット

アセスメントシートを見ながらスコア化

評価項目は8つスコアは3段階

2点がついたら歯科依頼検討

ケアの介入頻度と方法を決定

早期からの多職種連携による口腔衛生管理

日本歯科医師会  
Japan Dental Association



# Oral Health Assessment Tool (OHAT) 日本語版説明用資料

作成 藤田保健衛生大学医学部歯科

中川 量晴

松尾 浩一郎

2015/05/23



ORAL HEALTH ASSESSMENT TOOL (OHAT)		(Chalmers JM et al, 2005)		
ID:	氏名:	評価日: / /		
項目	0=健全	1=やや不良	2=病的	スコア
口唇	正常、湿潤、ピンク	乾燥、ひび割れ、口角の発赤	腫脹や腫瘍、赤色斑、白色斑、潰瘍性出血、口角からの出血、潰瘍	
舌	正常、湿潤、ピンク	不整、亀裂、発赤、舌苔付着	赤色斑、白色斑、潰瘍、腫瘍	
歯肉・粘膜	正常、湿潤、ピンク、出血なし	乾燥、充沢、腫脹、発赤、部分的な1-6歯分腫脹、歯肉下の一部潰瘍	腫脹、出血(7歯分以上)、歯の動揺、潰瘍、白色斑、発赤、圧痛	
唾液	正常、潤滑性	乾燥、べたつく粘膜、少量の唾液、口渇感若干あり	赤く干からびた状態、唾液はほぼなし、粘性の高い唾液、口渇感あり	
残存歯 □有 □無	歯・歯根のう蝕または破折なし	3本以下のう蝕、歯の破折、残根、咬耗	4本以上のう蝕、歯の破折、残根、非常に強い咬耗、義歯使用無しで3本以下の残存歯	
義歯 □有 □無	正常、歯肉、人工歯の破折なし、普通に装着できる状態	一部位の義歯、人工歯の破折、毎日1-2時間の装着のみ可能	二部位以上の義歯、人工歯の破折、義歯粉失、義歯不適合のため未装着、歯肉接合部が必要	
口腔清掃	口腔清掃状態良好、歯道、歯石、プラークなし	1-2部位に歯道、歯石、プラークあり、若干口臭あり	多くの部位に歯道、歯石、プラークあり、強い口臭あり	
歯痛	疼痛を示す言動的、身体的な兆候なし	疼痛を示す言動的な兆候あり、歯を引きつらせる、口唇を噛む、夜車しない、攻撃的になる	疼痛を示す身体的な兆候あり、腫、歯肉の腫脹、歯の破折、潰瘍、歯肉下の腫瘍、言動的な兆候もあり	
合計				
歯科受診 ( 要 / 不要 )				
再評価予定日				

# 口唇

0=健全

1=変化

2=病的



正常  
湿潤  
ピンク

乾燥、ひび割れ  
口角の発赤

腫脹や腫瘍  
赤色斑、白色斑  
潰瘍性出血  
口角の出血、潰瘍

# 舌

0=健全

1=変化

2=病的



正常  
湿潤  
ピンク

不整, 亀裂, 発赤  
舌苔の付着

赤色斑, 白色斑  
潰瘍  
腫脹

29

# 歯肉

0=健全

1=変化

2=病的



正常  
湿潤  
ピンク  
出血なし

乾燥, 光沢, 粗造, 発赤  
部分的な(1-6歯分)腫脹  
義歯下の一部潰瘍

腫脹, 出血(7歯分以上)  
歯の動揺, 潰瘍  
白色斑, 発赤, 圧痛

30

# 頬粘膜

0=健全

1=変化

2=病的



正常  
湿潤  
ピンク  
出血なし

乾燥, 光沢, 粗造, 発赤  
義歯下の一部潰瘍

潰瘍  
白色斑, 発赤, 圧痛

31

# 唾液

0=健全

1=変化

2=病的



湿潤  
漿液性

乾燥, べたつく粘膜  
少量の唾液  
口渇感若干あり

赤く干からびた状態  
唾液はほぼなし  
粘性の高い唾液  
口渇感あり

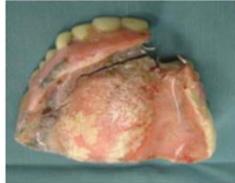
32

## 残存歯

0=健全	1=変化	2=病的
		
<p>歯・歯根のう蝕または破折なし</p>	<p>3本以下のう蝕、歯の破折、残根、咬耗</p>	<p>4歯以上のう蝕、歯の破折、残根、非常に強い咬耗 義歯使用無しで3本以下の残存歯</p>

33

## 義歯

0=健全	1=変化	2=病的
		
<p>正常義歯、人工歯の破折なし 普通に装着できる</p>	<p>1部位の義歯、人工歯の破折 毎日1~2時間の装着可能</p>	<p>2部位以上の義歯、人工歯の破折 義歯紛失、義歯不適合のため未装着 義歯接着剤が必要</p>

34

## 口腔清掃状態

0=健全	1=変化	2=病的
		
<p>食渣、歯石、プラークの付着がない</p>	<p>1~2部位に食渣、歯石、プラークあり 若干口臭あり</p>	<p>多くの部位に食渣、歯石、プラークあり 強い口臭あり</p>

35

## 歯痛

0=健全	1=変化	2=病的
		
		
<p>疼痛を示す言動的、身体的な兆候なし</p>	<p>疼痛を示す言動的な兆候あり：顔を引きつらせる、口唇を噛む、食事しない、攻撃的になる</p>	<p>疼痛を示す身体的な兆候あり： 頬、歯肉の腫脹、歯の破折、潰瘍、歯肉下膿瘍 言動的な兆候もあり</p>

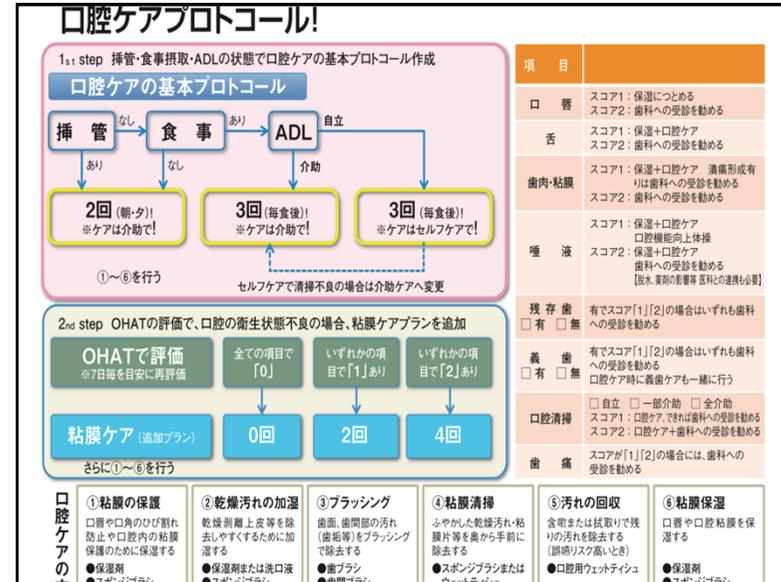
36

**ORAL HEALTH ASSESSMENT TOOL(OHAT)** (Chalmers JM et al., 2005)

項目	0=健全	1=不良	2=病的
口唇	正常、潤潤、ピンク	乾燥、ひび割れ、口角の発赤	腫脹や腫痛、赤色斑、白色斑、潰瘍性出血、口角からの出血、潰瘍
舌	正常、潤潤、ピンク	不整、亀裂、発赤、舌苔付着	赤色斑、白色斑、潰瘍、腫脹
歯肉・粘膜	正常、潤潤、ピンク、出血なし	乾燥、光沢、粗造、発赤、部分的な(1-6歯分)腫脹、歯肉下の一部潰瘍	腫脹、出血(7歯分以上)、歯の動揺、潰瘍、白色斑、発赤、圧痛
唾液	潤潤、標液性	乾燥、べたつく粘膜、少量の唾液、口湿感若干あり	赤く干からびた状態、唾液はほぼなし、粘性の高い唾液、口湿感あり
残存歯	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 歯・歯根の2/3以上は破折不し	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 3本以下の2/3、歯の破折、残根、咬耗	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 4本以上の2/3、歯の破折、残根、非常に強い咬耗、義歯使用無しで3本以下の残存歯
義歯	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 正常義歯、人工歯の破折不し、普通に装着できる状態	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 一部位の義歯、人工歯の破折、毎日1-2時間の装着のみ可能	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 二部位以上の義歯、人工歯の破折、義歯給失、義歯不適合のため未装着、義歯接合剤が必要
口腔清掃	口腔清掃状態良好、食渣、歯石、プラークなし	1-2部位に食渣、歯石、プラークあり、若干口臭あり	多くの部位に食渣、歯石、プラークあり、強い口臭あり
歯痛	疼痛を示す言動的、身体的な兆候なし	疼痛を示す言動的な兆候あり、顔を引きたせ、口唇を噛む、食事しない、攻撃的になる	疼痛を示す身体的な兆候あり、頬、歯肉の腫脹、歯の破折、潰瘍、歯肉下腫痛、言動的な兆候あり

日本語訳：藤田保健衛生大学医学部歯科 松尾浩一郎、with permission by The Iowa Geriatric Education Center available for download: [http://dentistryuiowa-hu.jp/revised\\_aug09\\_2014](http://dentistryuiowa-hu.jp/revised_aug09_2014)  
本シートは藤田保健衛生大学松尾浩一郎教授のご厚意により使用しています。

37



38

口をまもる 生命をまもる

## 基礎から学ぶ 口腔ケア

第2版

監修 関谷 武

本日のお話は主にこちらの書籍を参考、引用させていただきました。  
口腔ケアの基本から、さまざまな患者へのケアが詳しく学べます。

日本歯科医師会  
Japan Dental Association

39



40